

# 白鳳スタンプラリー

実施期間  
2015年  
7月18日(土)～  
9月23日(水・祝)

奈良国立博物館での特別展「白鳳」と、

白鳳時代にゆかりの深い 興福寺、薬師寺、法隆寺 の拝観スポットをめぐり、  
スタンプを集めた方に素敵な記念品をプレゼント！

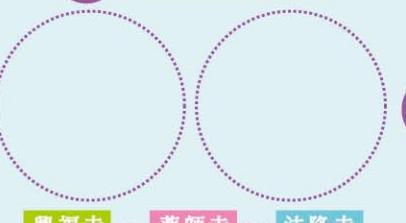
## スタンプ欄

### ① 白鳳展と



奈良国立博物館

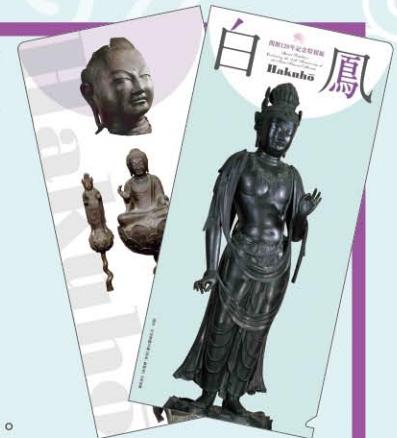
### ② 2寺院拝観で、



興福寺 or 薬師寺 or 法隆寺

### ③ 特製グッズ(非売品) プレゼント!!

記念品交換



◎記念品交換ができるのは下の枠内記載の合計4か所です。

◎記念品の交換は1名様1回限りです。◎実施期間終了後は記念品の引き換えはできません。

各スタンプ設置場所で上の「スタンプ」欄にスタンプをおします。

◎スタンプ設置場所は下の枠内記載の合計4か所です。



●スタンプ設置・記念品交換場所：西新館1階展覧会出口付近

## スタンプ設置場所

## 記念品交換場所

## 興福寺

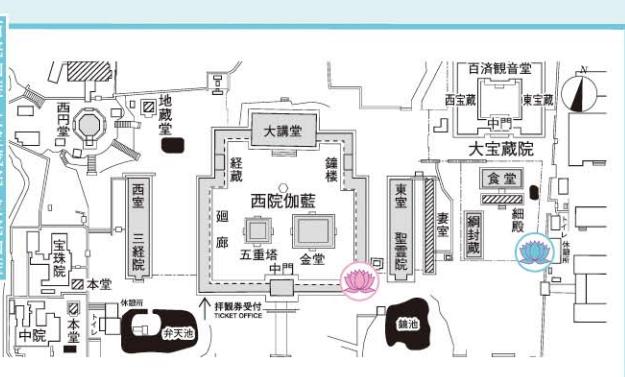


●スタンプ設置・記念品交換場所：国宝館拝観受付



●スタンプ設置・記念品交換場所：金堂

## 法隆寺



●スタンプ設置場所：西院伽藍出口付近 ●記念品交換場所：東休憩場所

# 白鳳時代にゆかりの深い寺を巡ろう。



## 興福寺

### 起源は藤原鎌足の時代に

669年に藤原鎌足の病気の回復を祈願して夫人・鏡女王が現在の京都市山科区に造営した「山階寺」が起源と伝わります。壬申の乱(672年の後、飛鳥に都が戻った際に「巖坂寺」の名で藤原京に移建されました。さらに710年の平城京遷都に伴い、藤原不比等によって現在の地に移され、「興福寺」と名付けられました。以降、藤原氏の氏寺として大いに繁栄し、奈良時代には四大寺、平安時代には七大寺の一つに数えられました。1180年の平重衡の南都焼討ち、江戸時代の1717年の火災などでたびたび堂塔は焼失しましたが、その都度多くの人々の努力で復興を遂げ、現在に至ります。

仏頭は東金堂の昭和大修理の際、現本尊の台座内部から発見されました。仏頭は持統皇后の発願で7世紀後半に建立された山田寺講堂本尊の一部と考えられる白鳳時代の代表作です。1187年に興福寺東金堂の本尊として迎えられましたが、1411年の火災で跡は焼け落ち、頭部だけが奇跡的に残りました。

拝観料：一般800円／中高生600円／小学生250円

※国宝鑑定のみの拝観料は一般600円

中高生500円／小学生200円

拝観時間：午前9時～午後5時(受付は午後4時45分まで)

※8月5日～14日は午後8時30分まで  
受付は午後4時5分まで

アクセス：近鉄奈良駅より徒歩約5分、JR奈良駅より市内循環バス県庁前下車すぐ

☎ 0742-2227755



拝観料：一般500円／中高生400円／小学生200円  
※8月13日～15日は一般800円／中高生700円／小学生300円  
(玄関・講堂・伽藍も公開)  
※9月16日以降は一般100円／中高生700円／小学生300円  
(玄関・講堂・伽藍も公開)

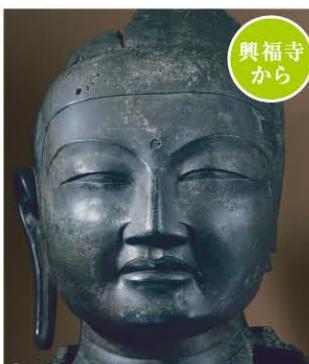
拝観時間：午前8時30分～午後5時  
(受付は午後4時30分まで)

アクセス：近鉄西ノ京駅下車すぐ

☎ 0742-333-6001

拝観料：一般1500円／小学生750円  
拝観時間：午前8時～午後5時(受付は午後3時50分まで)  
アクセス：近鉄奈良駅より法隆寺門前行きバス  
法隆寺前下車徒歩約5分

近鉄筒井駅より王寺駅行きバス



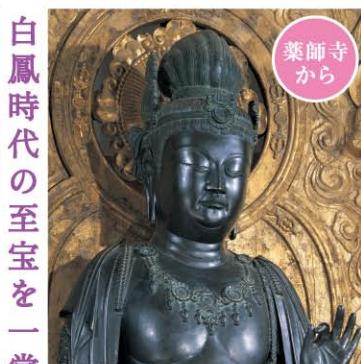
興福寺から



薬師寺から



国宝・仏頭は8月18日～27日は奈良国立博物館で、それ以外の期間は興福寺国宝館で出会えます！



法隆寺から



興福寺・薬師寺・法隆寺が所蔵する



花ひらく仏教美術

白  
Hakuhō  
鳳

開館120年記念特別展

奈良国立博物館

観覧料：一般1500円／高大生1000円／中生500円  
開館時間：午前9時30分～午後6時、毎週金曜日と8月5日～15日は午後7時まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日：毎週金曜日、7月21日(火)  
※ただし、7月20日[月・祝]、8月10日[月]、9月21日[月・祝]は開館

アクセス：近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス外回り「水塗神社・国立博物館」下車すぐ

☎ NTTドコモ050-5542-8600

■主催＝奈良国立博物館、読売新聞社、NHK奈良放送局、NHKラジオ第3放送  
■後援＝文化庁、奈良県、奈良テレ放送

■協賛＝関西大学、きんでん、清水建設、大和ハウス工業、

ダイワボウ情報システム、天理時報社、非破壊検査

■協力＝日本香堂、仏教美術協会

右上：国宝 観音菩薩立像(夢達觀音)  
右下：国宝 阿弥陀三尊像(伝橘夫人念持仏)  
中上：国宝 月光菩薩立像  
中下：国宝 聖觀音菩薩立像  
左上：国宝 仏頭